



長大成人，進到完全

(以弗所書エペソ4:13)

週報

2025年8月10日

(第3148期)



宗教法人：東京中華基督教會

〒166-0003東京都杉並区高円寺南5-13-4

電話：(03)3312-1837 (教會)

<http://church.ne.jp/chinese>

「你們不可停止聚會、好像那些停止慣了的人、倒要彼此勸勉、既知道那日子臨近、就更當如此。」 (希伯來書10章25節)

主日崇拜

讚美	第31首「親愛牧人 / かいぬしなる主よ」	會眾
禱告		司會
朗讀	使徒信經	會眾
證道	「這到底是誰? (三)」	林光榮 牧師
	「いったいこの方はどういう方? (三)」	楊建榮
	馬可福音4:35~41/ マルコ4:35~41	
聖餐	第168首「思念十架 / さかえの主イエスの」	林光榮 牧師
讚美	第35首「快來擁戴 / おおくのかむり」	會眾
奉獻	第127首「數算主恩 / のぞみも消えゆくまでに」	會眾
祝禱		林光榮 牧師
頌榮	第1首「讚美真神 / あめつちこそりて」	會眾
報告事項		張健 傳道, 易人

【教會週間定期聚會】

主日崇拜：每主日 10:30 - 12:00
(Zoom ID: 995 035 0116)

聖餐式：每月第2主日

晨禱會：每主日 9:30 - 10:15

晚禱會：每週二 20:00 - 20:30

小組分享：每主日 12:30 - 14:00

日英文查經：每週三 19:00 - 20:30
(表參道・青山生涯學習館&LINE)

中文查經：每週五 19:50 - 21:00
(Zoom ID: 663 697 9476)

福音團契：每週六 17:30 - 19:30

【教會本年度的目標】

常常聚會、常常讀經

いつも集會に参加し、たえず聖書を読む

【本月背誦聖經章節】

我深信那在你們心裡動了善工的，必成全這工，直到耶穌基督的日子。

(腓立比書1:6)

あなたがたのうちに良い働きを始められた方は、キリスト・イエスの日が来るまでにそれを完成させてくださることを私は堅く信じているのです。

(ピリピ

1:6)

【本週閱讀聖經章節】

8/11 : 約7:1-24、詩119:57-64、書15, 16

8/12 : 約7:25-52、詩119:65-72、書17, 18

8/13 : 約8:1-30、詩119:73-80、書19

8/14 : 約8:31-59、詩119:81-88、書20, 21

8/15 : 約9:1-25、詩119:89-96、書22

8/16 : 約9:26-41、詩119:97-104、書23, 24

8/17 : 約10:1-21、詩119:105-112、士1, 2

【證道提要】

「這到底是誰？（三）」

馬可福音4:35~41

1. 今天我們繼續看39節“耶穌醒了”。這和38節是兩個對比：船遭遇大風暴竟然還不能吵醒耶穌、但門徒一喊「夫子、我們喪命啦、你不顧嗎？」、耶穌卻醒了。
2. 在父母心中、兒女都掛在心上。同樣、船上的門徒也都在主耶穌心上、你和我都是如此、只是我們太遲鈍、不知道而已。
3. 38節提到耶穌他是人子、他全然是個人。不過在39節我們看見他是大有權能的主、他既是人也是神。
4. 看40節、耶穌對他們說：「為什麼胆怯」。因為門徒們忘了眼前這位是誰了。耶穌不是責備他們、而是教導他們不可小信。
5. 當神的兒女面對人生的試練、悲傷和懼怕的時候、有什麼可以除去我們心中的懼怕呢、只有對神的信心。
6. 40節裡的信心不是說你失去了得救的信心、而是說我們的眼目不去仰望主、太過專注在問題和環境壓力上、求主憐憫我們。
7. 總結。

「いったいこの方はどういう方？（三）」

マルコ4:35~41

1. 今日は続けて39節を見ます“イエスは起きた。”これは38節との二つの対比です：舟が暴風雨に遭ってもイエスを起こすことはできず、しかし、弟子たちが「先生、私たちが死にそうでもなんとも思われないのですか」と叫ぶとイエスは起きられた。
2. 親は心の中では、いつも子供のことに気を配っています。同様に、舟の上にいる弟子たちにもイエスは気を配っております。あなたも私も同じです。ただ、私たちがあまりにも鈍く知らないだけです。
3. 38節にイエスを人の子と書いてありますが、確かに彼は人です。しかし、39節で彼が大きな権威と力を持っているのを私たちは見ました。彼は神であり、人間でもあります。
4. 40節でイエスが彼らに言われた「どうしてそんなに怖がるのですか」。弟子たちが目の前の人か誰なのかを忘れたからです。イエスは彼らを責めたわけではなく、信仰が小さくならないように教えられたのです。
5. 神の子供が人生の試練や悲しい事や怖い事に遭う時、私たちの心から怖がりを取り除くことができるのは神に対する信仰のみです。
6. 40節で語られている信仰は救いを失う信仰の事ではなく、私たちの目が神を仰ぎ見ず、問題や環境の圧力ばかりを見ている事です。主が私たちに憐れんでくださるよう。
7. まとめ